

労働力調査（基本集計）

2019年（令和元年）10～12月期平均（速報）

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6762万人と、前年同期に比べ65万人の増加
- ・ 完全失業者数は153万人と、前年同期に比べ10万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.2%と、前年同期に比べ0.2ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、南関東、北関東・甲信、北陸、近畿、四国、九州及び沖縄は増加、東北、東海及び中国は減少

- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、北海道、南関東、北関東・甲信、近畿及び中国は減少、北陸、九州及び沖縄は同数、東北、東海及び四国は増加

- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	2.4%	(0.4ポイント低下)	近 畿	2.3%	(0.6ポイント低下)
東 北	2.7%	(0.3ポイント上昇)	中 国	2.3%	(0.4 ")
南関東	2.1%	(0.2ポイント低下)	四 国	2.0%	(0.2ポイント上昇)
北関東・甲信	2.0%	(0.5 ")	九 州	2.5%	(0.1ポイント低下)
北 陸	2.0%	(0.1 ")	沖 縄	2.7%	(0.4 ")
東 海	1.9%	(0.3ポイント上昇)			

図 1 地域別完全失業率

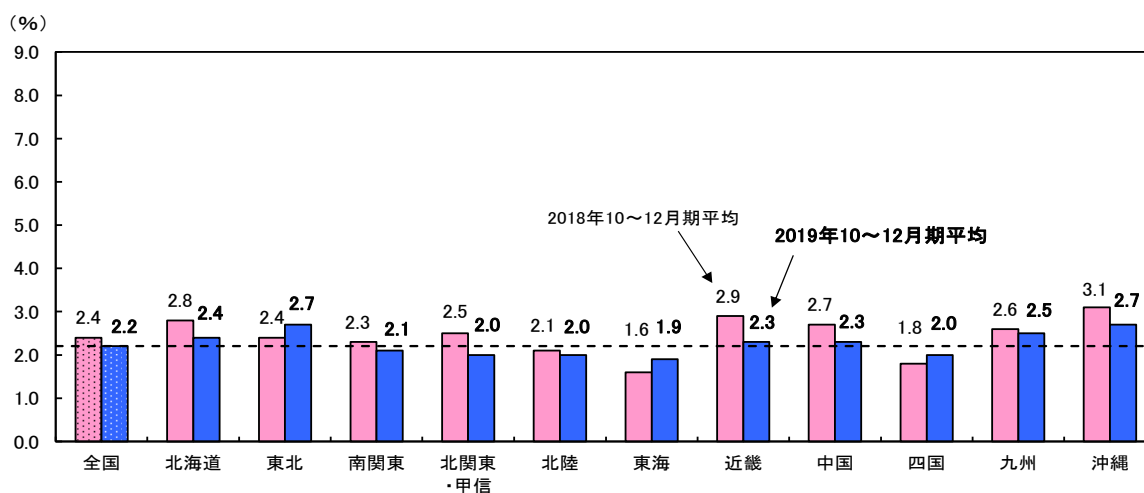


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

